

甲斐の金山から

平成27年3月30日 第71号

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



春と桜でるんるん気分♪
新年度もイベント満載!
たくさん遊びに来てください

第3回「金山遺跡・砂金研究フォーラム」の意義

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口一夫

歴史（文献）学・考古学からの「金山史研究・金山遺跡研究」の現段階における最前線は、萩原三雄編『日本金銀山遺跡』（高志書院2013）において全国からの金銀山情報が集約されており、その全容を垣間見ることができる。

学史的にみると鉱山研究の初現は秋田藩士黒沢元重『鉱山至宝要録』（1691）や住友家文書（住友史料叢書6回配本）『宝の山（諸国銅見分扣）』（1732～1830・享保17～文政13）に見られる全国銅山記録、また佐藤信景『山相秘録』（18世紀）などとされる。本格的な金銀山研究の出発点にあっては金銀鉱床学の岩崎重三（1869～1941）や、地球科学者・鉱床学の渡辺万次郎（1891～1980）らの功績が大きい。

岩崎は1911年（明治44）に『日本鉱石学』“金編”、14年に“銀編”、18年に“銅編”を刊行、その後、版を重ねているが、1957年（昭和32）に『金属鉱床学』を刊行した渡辺と同様に、多くの鉱床学者を育てた。その渡辺の業績や人柄は『地学雑誌』90.6（1981）内「本邦における大正期以降の地質学・鉱物学の発達（第2回）—渡辺万次郎先生を囲む懇談会—」に記述されている。

人文科学の考古学からの金山史研究の初源は1957年（昭和32）の宮城県涌谷町黄金迫地内の8世紀「延喜式内黄金山神社境内」の発掘調査で天平の籠書きが残る瓦の発見に溯る。この調査は考古学者である東北大教授伊東信雄のもと実施された。1959年（昭和34）に宮城県史跡指定となり、さらに1967年（昭和42）には国指定史跡「天平産金遺跡」に指定されたことにその成果が見られるが、そこはまさに涌谷町黄金迫の文献に残る「黄金山神社周辺」だった。

1968年（昭和43）には小葉田淳『日本鉱山史の研究』が刊行された。同年、佐渡でも田中圭一により『鉱山開発初期における上相川の集落形成』がまとめられた。またこの年には越後国・

高根金山の現地調査を地元朝日村役場が実施しているが、当地は“越後黄金山”と言われる地域で一時期佐渡相川金山を上回る産金記録が残る金山群集地でもあった。後年の1998年（平成10）には、日本鉱業史研究会も、ここ高根金山をはじめ、大毎金山を踏査、古式の様相を有する挽き臼なども現地確認している。

翌1969年（昭和44）には、1526年（大永6）に銀峯山中腹で産銀が始まったとされる石見銀山が国指定史跡となった。1981年、88年（昭和56、63）には北海道で美利河ダム建設に伴う事前調査が行われ、ここでは砂金採掘現場が明らかにされた。

1986年（昭和61）には小葉田淳の『続日本鉱山史の研究』が刊行されたが、その年から1989年（平成元）までの4年間、今村啓爾らによる甲斐国の黒川金山遺跡学術調査が実施された。さらに1989年（平成元）～1991年（平成3）の3年間には帝京大学山梨文化財研究所を中心とした湯之奥中山金山遺跡学術調査団が結成され総合調査が実施された。この両金山の調査は戦国期～江戸時代前期にまたがる甲斐国における特徴的な初源的山金山遺跡の様相をもつ金山として、その全容が明らかにされ、1997年（平成9）には甲斐金山遺跡「黒川金山・中山金山」が国指定史跡となっている。

そのガイダンス館として同年4月24日には「甲斐黄金村・湯之奥金山博物館」（当初3年間は資料館）が開館、金山をより身近に感じて貰うための生涯学習や地域活性化の拠点として活動している。特に「映像展示」「ジオラマ展示」「常設展」「砂金掘り体験」に加えて、イベントの「こども金山探険隊」「砂金甲子園大会」「各地の金山遺跡見学会」などは全国から人気を集め、金山についての学習効果を高めている。

1987年（昭和62）には大森銀山の町並みが「重要伝統的建造物群保存地区（鉱山村）」に指定さ

れ、1988年（昭和63）には島根県石見銀山遺跡の調査が大田市教育委員会により始まった。佐渡でも佐渡奉行所跡の発掘調査が1994年（平成6年）に開始されている。一方この年、岩手県埋文センターでは「土金」採掘現場と見られる遺構調査が行われた。北海道でも、1976年の踏査に続き、1996年（平成8）に行なわれたカニカン岳金山跡の現地調査で17世紀中葉と見られる坑道跡や鉱山臼を発見されている。

また1998年（平成10）には、砂防ダム工事に伴う事前調査で、山梨県埋文センターが秋山金山（かなやま）の金山神社跡の発掘調査をはじめ坑口跡の分布調査を行い、磨り臼9点が発見されている。

1999年（平成11）には石見銀山の世界遺産登録をめざす総合調査が進み、佐渡金山では2000年（平成12）と2004年（平成16）に寄勝場復元整備が進んだ。その際、発掘調査で出土した選鉱・製錬関連遺物や陶磁器類は重要文化財に指定されている。さらに2003～2006年（平成15～18）にかけ相川町教育委員会は現地踏査や上相川地区の地形測量を行ない、保存に向けた調査が進出した。翌年2007～2010年（平成19～22）にかけては、西三川砂金山の範囲確認調査も実施され、水路跡、堤跡、石組み遺構等が確認されている。

また島根県では2007年（平成19）に「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界文化遺産に登録されている。

一方、当山梨県では、2009年、2010年（平成



21、22）年に、湯之奥3金山のうち茅小屋と内山金山の測量調査が連年実施され、特徴的な甲斐金山型の自然地形を活用したテラス群の広まりが明らかとなった。その翌年の2011年（平成23）、新潟県では国史跡・佐渡金山遺跡に「鶴子銀山」が追加指定となっている。

■これからの取り組みと課題■

簡単に学史を振り返ると総合的な学術調査が行なわれた金銀山は、山梨県の黒川金山、湯之奥中山金山、それに世界文化遺産を目指した石見銀山、また世界遺産を目指す佐渡金山などが挙げられるが、その他著名な金銀山でも総合的な学際調査に至ったケースは余り見られない。また日本各地、特に東日本などでは文献には産金活動があり、金による納税などの実態が明らかなのに、その産金地や産金形態は未解明である。

それら歴史的な金山の探査や金採掘地点の観察など、金山博物館応援団Au会会員有志は積極的に各地の文献史料や鉱床学と照らし合わせながら現地踏査を試み、かつ砂金探査によって文献に残る産金地の同定に努めている。表題に掲げた「フォーラムの意義」は、その発表の場としてのAu会主催・金山博物館共催のフォーラムであり、地味な活動ではあるが早や3回目を迎えた。主催者はペーパーに残したいという考えもあり、連続してこのフォーラムが開催されれば金山史研究の新しい切り口として定着する可能性が見えてきた。

第4回は来年1～2月に開催予定だが、既に北杜市の斑山金山遺跡についての発表者もエンブリーされている。



12月～2015年3月の博物館活動報告

錫アクセサリー作り体験教室

地元・岐南高校の学生たちが講師となる、この体験教室も6年目となりました。今年度も12月と2月、計2回開催。選挙投票の日と重なった1回目の12月は、博物館が投票会場の一つでもあるため、投票に来た町民の方も、投票帰りに気軽に体験できるように、内容もシンプルな錫キーホルダー作りをエントランスで開催。「孫にお土産に」と作っていってくださった方もおり、学生たちも、そんな声に嬉しそうに指導していました。

また2回目の2月は、前回よりグレードアップした内容で「錫プレート&色付きキーホルダー作り」を多目的

12月14日(土)&2月14日(土)

ホールで開催いたしました。いずれの参加者も楽しそうに作業し、また学生たちも手順を丁寧に教えながら、指導の難しさと楽しさを学ぶことができたようです。



ヤマメの赤ちゃん放流

小雨降る中、定員5名で募集した「ヤマメの赤ちゃん放流」に、この日、町内外から15名の子ども達が訪れてくれました。このヤマメたちは昨年12月、卵で博物館にやってきたもので、約3か月かけて孵化、約3センチくらいに成長したものでした。

この日、講師を務めてくれたのは温泉郷で理容室「やまめ床」を営む依田啓史さん。「飼いきれなくなったペットを川に勝手に放してはいけない」など、自然のルールを子供たちに分かりやすく解説。依田さんからの話を聞き学習した後、子ど



3月1日(日)

も達は博物館前を流れる下部川に移動。「元気でね～」と声をかけながら、ヤマメの赤ちゃんを放流しました。

博物館に戻った子ども達は釣りの仕掛け作りを学んだ後、放流に使った竹筒の入れ物をお土産に、満足気に帰っていました。



リアル謎解きゲーム

26年度全3回行った、博物館リアル謎解きゲームシリーズ第2弾の「怪盗18面相からの挑戦状～甲州金を取り戻せ～」が3月の公演をもって、ひとまず終了いたしました。昨年4月の回を皮切りに、大人子ども問わず、約100人の皆さんに挑戦してくれましたが、全公演を通して成功グループはゼロ。皆さんからは「楽しかった！」という声はもちろん、「この悔しさは謎解きで晴らす！」とリベンジを誓ってくれた方も大勢いました。

そんな中、スタッフは次回作の構想を練り、新謎を鋭意作成中ですので、是非楽しみにしていてください。

2月21日(土)&3月21日(土)

なお、「18面相」は、いずれ再演予定も計画いたしますので、情報チェックしていくください。



3月23日(月)

張っている」というお褒めの言葉をいただく一方で、「金山に限らず、地域の博物館が、地域の文化財を守るという未来へ向けた動きをしていかなければならない時期にもきているので、大変だが取り組んでいってほしい」という意見もいただきました。スタッフ一同、決意新たに新年度に向か、皆様のご期待に応えられますよう、ますます精進していく所存です。

平成26年度博物館運営委員会

博物館の運営方針や活動を審議評価いただく平成26年度運営委員会が、去る3月23日に開催されました。

昨年の記録的大雪など毎年のように見舞われる未曾有の自然災害による来館者数の減少などに触れたうえで、26年度の博物館運営状況ならびに事業報告、そして新年度事業計画を報告し、今後の博物館の課題などを委員の先生方にご審議いただきました。「少人数でよく頑

第3回金山遺跡・砂金研究フォーラム

「博物館応援団Au会」の皆さんのが企画開催した、研究発表会「金山遺跡・砂金研究フォーラム」も第3回目。県内外から50人近くの方がご参加くださいました。「誰もが気軽に参加できる発表会」がコンセプトとしている中、今回も興味深い研究発表がなされ、質疑応答も活

発で、大いに有意義な会となりました。皆さんの中には、次回のイメージがすでに描かれており、フォーラム終了後も、第4回目に向けて活発な意見交換がされているほどでした。多くの方々が期待して注目しているこの研究フォーラム。次回も、どうぞよろしくお願ひいたします。

博物館応援団&砂金掘り友の会の皆さん、ありがとうございます！ 常設展示に砂金資料 追加展示作業 進行中！

このたび、常設展示の充実と見易さを図るために、常設展示室の館蔵の甲州金資料を奥山コレクションの展示ケースに移し替えました。それにより、このケースが空きとなったため、同時に、砂金資料コーナーに展示改編を継続的に行って参りました。ただ、館蔵品の砂金資料は、過去にサンプルとしてご寄贈いただいた資料や、学芸員が業務の合間を縫って採取した関東近県の砂金資料のみでした。

さて、砂金掘り友の会、及び博物館応援団メンバーは、砂金掘りの趣味を研究として深め、またお互いの交流も深めており、当博物館において非常に重要な役割を担ってくれています。また、同メンバーは、全国各地で様々な活動を通して「湯之奥金山博物館」



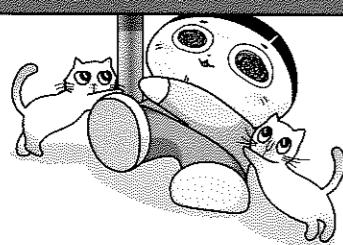
砂金資料寄贈・協力者一覧（順不同・敬称略）

天野直人（静岡県）、木村伸之（滋賀県）、小林 彰（山口県）、丸岡正明（香川県）、諫山浩士（愛知県）、岡田玲子（神奈川県）、広瀬義朗（神奈川県）、銭谷清人（神奈川県）、野村敏郎（兵庫県）、齊藤勝幸（北海道）、大森直之（東京都）、中村軒一（愛知県）、新町 正（鹿児島県）、他

この展示を作成するにあたり、博物館応援団Au会、砂金掘り友の会、その他、多くの皆様からご協力をいただいております。これらの資料は今後も、当館の貴重な学術研究資料として未永く活用させていただきます。また、ここにお名前を挙げてない応援団の皆様、各方面の方々にも、日々応援・ご協力いただいておりますことに、この場を借りて、深く深く感謝の意を申し上げます。



博物館事業のお知らせ



平成27年度 湯之奥金山博物館年間イベント

湯之奥金山博物館は今年度もイベント満載です。多くの皆様にご参加いただき、博物館を楽しんでいただけるよう次のような日程で各種事業を計画しています。各事業の詳細は、チラシ、ポスター、博物館ホームページ、身延町ホームページなどでお知らせして参りますので、開館日と合わせてチェックしてください。

※一部内容や日程など変更になることもあります、都度、博物館ホームページ内でお知らせして参ります。

イベント年間スケジュール

月	日 時	内 容	場 所	備 考
4月				
5月	9日(土)	熱気球搭乗体験	リバーサイドパークテニスコート	おっぱら自然体験センター共催
6月	20日(土)	親子映画観賞会①「となりのトトロ」	金山博物館駐車場シアター	
	未定	シルバークリエイアート体験教室①	金山博物館多目的ホール	
	19日(日)	第7回化学実験教室	金山博物館多目的ホール	
7月	25日(土)	第15回砂金掘り大会	金山博物館駐車場	
	26日(日)	第12回東西中高交流砂金掘り大会	金山博物館駐車場	
8月	1日(土)～2日(日)	第15回こども金山探険隊	中山金山遺跡＆金山博物館	
9月	5日(土)	親子映画観賞会②「クレヨンしんちゃんガチンコ！逆襲ロボ一ちゃん」	金山博物館駐車場シアター	
	未定	シルバークリエイアート体験教室②	金山博物館多目的ホール	※9月～10月予定
10月	未定	シルバークリエイアート体験教室③		※9月～10月予定
11月	初旬未定	遺跡見学会	妙法鉱山（身延町）	※秋口予定
	28日(土)	親子映画観賞会③「それいけ！アンパンマン ゴミラの星」	金山博物館駐車場シアター	
12月	初旬未定	遺跡見学会	常陸大宮市民俗資料館～柄原鉱山跡～	※11月～12月初旬予定
	13日(日)	錫アクセサリー作り体験教室①		峠南高校共催
1月	未定	リアル謎解きゲーム「もーん父さんの秘密」（仮題）	金山博物館多目的ホール	
2月	13日(土)	錫アクセサリー作り体験教室②		峠南高校共催
	20(土)	親子映画観賞会④「ペイマックス」	金山博物館駐車場シアター	
3月	6日(土)	親子映画観賞会⑤「STAND BY ME ドラえもん」	金山博物館駐車場シアター	

平成27年度開館カレンダー (2015年4月～2016年3月)

開館日をご確認いただき、お間違えないようご来館ください。8月中は無休開館期間です。また、4月1日（水）は観桜期無休開館期間にあたり、開館いたしております。

5月～9月迄：午前9時～午後6時迄

（受付は午後5時30分迄）

10月～4月迄：午前9時～午後5時迄

（受付は午後4時30分迄）

休館日：毎週水曜日（12月28日から翌年1月
1日までの5日間は年末年始休館期間
です。）

4月		5月		6月	
月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30

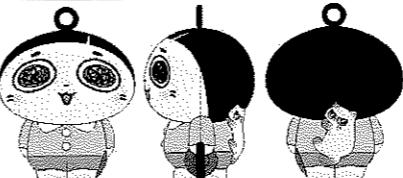
7月		8月		9月	
月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30	31

10月		11月		12月	
月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10		
11	12	13	14	15	
18	19	20	21	22	
25	26	27	28	29	30

1月		2月		3月	
月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26
28	29	30			

この春、満を持して、もーん父さんの新商品が登場! 2015・博物館オリジナル新商品のご紹介♪

エントリーNO.2



イメージ図

エントリーNO.1 もーん父さんの熊鈴

900円(税込)

“山梨百名山”が、毛無山を含めて7つもある身延町。身延山、七面山、富士見山、竜ヶ岳、三石山、八経嶺や蛾ヶ岳…。これらの山に登りたい！そんな思いに駆られた時、登山必携の熊鈴がない!!

そう、熊鈴。どこでも売っているかと思いきや、スポーツ用品店などにいかないと意外に手に入らないもの。ならば、毛無山登山が不可欠の当館から、オリジナル熊鈴を！ということで、春の新商品にお手頃価格でご用意いたしました。しかもデザインはもーん父さんを中心に4種類。4月中旬以降発売予定です。お楽しみに!!

登山のお供に、身を守る鈴音と“もーん父さん”を連れて行ってください。

エントリーNO.2 “もーん父さん”キャラ鈴根付

500円(税込)

パンニング皿を持ち、背中にはなんとお友達が!! そんな素敵なおーん父さんの鈴根付。近日発売予定。

エントリーNO.3 純銀製・干支懐中守りセット

18,000円(税込)

※干支単品もご用意しております。（@1,620円）

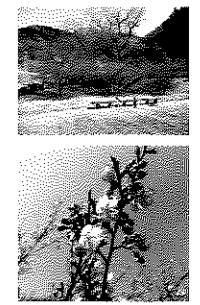
さらに、2015新作デザインTシャツも登場。夏に向けて、インパクトのあるもーん父さんをご用意。男性にももちろんお似合いですが、女性やお子様が着るとさらにキュート！

いずれの商品も博物館ミュージアムショップで取り扱っておりますので、お立ち寄りの際は、是非ご覧になっていってください。

編集後記

身延山のしだれ桜をはじめとして、ここは桜情報には事欠きません。博物館周辺も桜が咲くととてもきれいなんですよ。目下、リバーサイドパークの河津桜が満開を迎えて、それを追いかけるようにソメイヨシノが咲き乱れます。ここは、外気温が他所よりも低いので、タイミングが合うと、2種類の桜の満開を同時に楽しめるという稀な花見ポイントなんですよ。いずれも昨年の豪雪に枝を折られながらも一年を耐えた桜ですから、今年はいつもよりもっともっと力強い花を咲かせてくれるのでは、と思います。

そんな中、迎える新年度。桜の花に負けないよう、博物館も力強く今年も頑張って参ります。どうぞ皆様、スタッフ一同、初心変わらずご満足いただける施設づくりに努めてまいりますので、お力添えの程、よろしくお願い申し上げます。



博物館だより

第71号 平成27年3月30日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

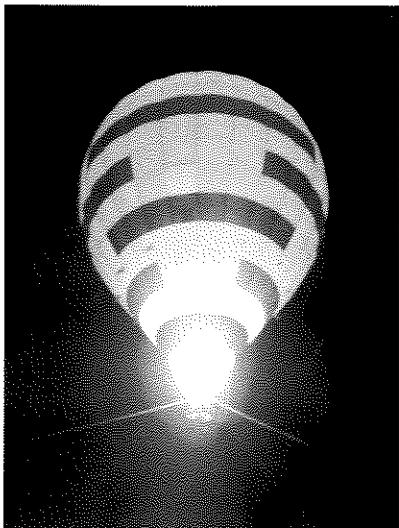
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp

湯之奥金山博物館×おっぱら夢組合 共催事業

湯之奥金山博物館に 気球がやってくる！ 気球に乗ろう



“自分たちの住む町並みを気球に乗って空からながめる”そんな願いをかなえる“熱気球”が身延町・金山博物館にやってきます！

どこででも簡単には体験できない感動の「熱気球体験」を、身延町の子どもたちにも知ってほしい！

そんな思いから、湯之奥金山博物館と長年、博物館と交流のある岐阜県高山市のおっぱら夢組合の皆さんとのコラボ企画が実現しました！

場所は博物館脇リバーサイドパークテニスコート。受付時間中に会場においでいただいた方

先着150名様がご搭乗いただけます。お住まいの町内外は問いません。また、大人の方も気軽に楽しんでいただけるよう、お子様料金に一律設定いたしましたので、この機会を是非、お見逃しなく！
(搭乗希望人数多数の場合は、整理券を配布させていただきます。)

本物の気球に乗って、下部温泉郷を囲む自然の山々眺めてみたい人、大人も子どもも金山博物館に集まれ～!!

見学はもちろん自由。大きな気球を見るだけでも笑顔になれますので、お近くの方は是非、見学に来てください。

■日 時：**平成27年5月9日(土)**

受付時間 朝6：30～7：30

搭乗時間 朝7：00～9：00頃まで

※雨天・強風の場合中止。

予備日：翌日5月10日(日)

■搭乗対象者：先着150名 予約不要

(当日受付順。ただし、希望者多数の場合は、当日、整理券を配布します。)

■内 容：熱気球をロープでつなぎ、約20m浮上する体験です。

(約5分間程度のフライトです。)

■場 所：下部リバーサイドパークテニスコート（博物館横）

■参加費：1,000円/ 1人 (大人・子供一律 ※5歳以上を目安にしてください)

(博物館常設展示観覧無料特典付 (当日のみ有効)・砂金採り体験は1割引き)

■駐車場：博物館駐車場 普25台迄、リバーサイドパーク駐車場 普30台迄

※駐車場の混雑が予想されますので、ご近所同士はお誘いあわせのうえ、出来るだけ相乗りでお越しください。また、路上駐車はご近所に迷惑がかかりますのでおやめください。皆様のご協力ををお願い致します。

※1 热気球体験は、天候に大きく左右されます。雨天、強風いずれも決行不可となりますので、開催の有無につきましては、前日(8日)の夕方6：00と、当日朝6：00に判断し、ホームページに掲載いたします。電話は混み合いますので博物館ホームページでの確認をお願いいたします。

また、土曜日が中止になった場合、翌日の5月10日(日)に延期し、同様のスケジュールで開催いたしますが、延期になった場合も、開催の有無は、9日(土)の夕方6：00と、当日朝6：00にホームページに掲載いたします。

※2 天候の急変などで開催途中でも中止となる場合があります。予めご承知おきください。

